

玉川大学学術研究所 先端知能・ロボット研究センター (AIBot研究センター)

キックオフシンポジウム

「脳と芸術とAIの 共存に向けて」

AIBot 研究センターは人とロボットと人工知能が共に暮らす未来の社会の実現を目指し、2017年4月に玉川大学学術研究所の組織として発足しました。AIBotは人工知能(AI)とロボット(Robot)を融合させた全く新しい概念です。

私達が目指すのは、人と「技術」が共に生き、共に働く社会を創ることです。人々が活躍し、人々の幸せを実現する社会のために、「技術」が貢献できることは何かを考え、人と「技術」が調和する社会の実現を求めます。

今回のキックオフシンポジウムでは第一部に世界初の試みとして、映像と音楽のコラボレーションによる新しい芸術表現をご覧いただけます。皆さんのお馴染みの曲が映像とのコラボレーションでどのように変化するかをお楽しみください。

また、第二部では脳科学と人工知能の研究者が脳科学や人工知能から迫る、新しい時代の芸術についてディスカッションします。

2018年 **1月21日** 日

13:00～16:30 (開場12:30)

会場 玉川大学 University Concert Hall 2016

▶ 参加お申込はこちらから

<http://www.tamagawa.ac.jp/aibotsymposium>



事前申込制
(参加費:無料)
定員350名

プログラム

第一部 映像と音楽のコラボレーションの新たな試み

13:00～14:00

アンケートにご協力ください

- ・ モーツァルト／アダージョ
- ・ バッハ／シャコンヌ
- ・ 善養寺／さくら
- ・ サラサーテ／カルメン幻想曲

・ バッハ／G線上のアリア 他

演奏: 斎藤アンジュ玉藻 (ヴァイオリン)
遠山沙織 (ピアノ)

映像機材協力: キヤノン株式会社 /
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

第二部 シンポジウム

14:15～16:30

「超快適空間の実現に向けて、AIと音楽と
映像はいかなる役割を果たすのか？」

「AIBot研究センターの取り組み」 岡田 浩之
(玉川大学工学部教授 / 学術研究所AIBot研究センター主任)

「脳とAI」 甘利 俊一
(独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター特別顧問)

「脳と芸術」 塚田 稔
(玉川大学脳科学研究所 名誉教授)

● パネルディスカッション

司会進行: 岡田浩之

パネリスト: 金田北洋 (キヤノン株式会社 / 大阪府立大学 / 東京理科大学)
甘利俊一・塚田 稔

主催: 玉川大学学術研究所 先端知能・ロボット研究センター (AIBot 研究センター)

協賛: スタジオ TO2 音楽院

参加案内

玉川大学学術研究所
先端知能・ロボット研究センター (AIBot研究センター)
キックオフシンポジウム

「脳と芸術と AI の共存に向けて」

2018年1月21日(日) 13:00～16:30
(開場 12:30)

▶本シンポジウムは**事前申込制**となっております。下記のURLまたはQRコードからお申込ください。

お申し込み URL

<http://www.tamagawa.ac.jp/aibotsymposium>



- 申込締切：2018年1月15日(月)
- 定員(350名)になり次第、お申込みを締め切らせていただきます。

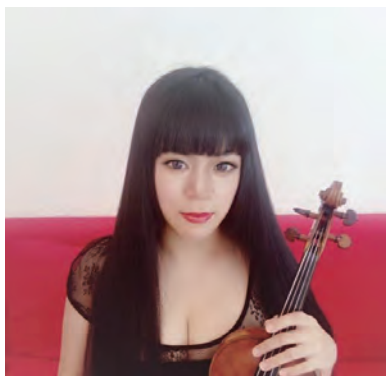


アクセス：小田急小田原線「玉川学園前」駅下車

※当日は駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

※個人情報利用目的内での提供にご同意の上、お申し込みください。お申込みの氏名・住所等の個人情報は、本シンポジウムに係る連絡、今後開催される学術研究所関係のご案内を目的とした利用以外には一切使用いたしません。

演奏者プロフィール



ヴァイオリン

齋藤アンジュ玉藻

ドイツ「インターナショナルゾリステンシリーズ」に最年少で抜擢。バッハのシャコンヌは絶品と評され、以来バッハ音楽祭に定期的に招かれる。各国の音楽祭に招聘、TV・ラジオ出演、著名オーケストラのドイツツアーではソリストとして12000名集客、今夏のザルツブルグでの演奏会はTVニュースとなる等次第にヨーロッパで名声が広まっている。音楽の有用性の研究を脳科学者達と開始予定。聴覚に視覚を伴った効果の研究も注目され、ザルツブルグ大学研究室との意見交換も始めている。音楽の科学的作用を研究し、それを活かした演奏シリーズも企画されている。



ピアノ

遠山沙織

東京芸術大学大学院修士課程を修了し、グラーツ芸術大学(オーストリア)にてポストグラデュエートコースを終了。ベートーヴェン・フラデッツ国際音楽コンクール(チェコ)、アンドレア・バルディ国際ピアノコンクール(イタリア)、シャビエル国際ピアノコンクール(スペイン)で第1位を受賞する他、国内外多数のコンクールで優勝、入賞を果たす。日本、オーストリア、イタリア、スペイン、チェコをはじめ、世界各地でオーケストラとの共演やソロリサイタル、そして室内楽の演奏等、精力的な演奏活動を繰り広げている。